

# 低温・乾燥に伴う技術対策について

令和5年1月16日  
JA全農ちば 営農支援部

銚子地方气象台発表の「千葉県農業気象速報（令和5年1月上旬）」によると1月初旬の降水量は千葉・館山で平年に比べかなり少なく、銚子・勝浦で平年に比べ少なくなりました。また、日照時間は県内全域で平年に比べかなり多くなりました。下記を参考にして、農作業や栽培管理における低温・乾燥時の対策を講じましょう。

## 1. はじめに

12月23日以降、千葉県内では降雨が極端に少なくなっていることから、露地圃場では土壌中の水分が不足し、乾燥している可能性があります。1月14日に降雨がありましたが、今後も晴れ予報が続いておりますので、土壌の水分量に注意しながら圃場の準備等を進めましょう。

## 2. 春夏にんじん(露地)

圃場が乾燥していたら灌水を実施しましょう。

**ポイント** 土壌水分量の目安は「土を手で軽く握って塊がポロっと崩れる」程度が良く、発芽が良好になりやすいです。

「土を手で軽く握って固まる」程度の水分が多い状態で播種をすると、土がダマになってしまうため発芽が悪くなりがちです。

## 3. スイカ・メロン

### (1) 育苗管理

育苗中は過湿状態にならないよう注意しましょう。過湿は立枯病やつる枯病などの病害発生の要因になります。

### (2) 土壌消毒

ア. クロルピクリン剤使用時は必ず被覆をしましょう

イ. ガス抜き期間を考慮して、定植の30～50日前までに消毒しましょう

ウ. 土壌消毒時の土壌水分量の目安は「土を手で軽く握って塊がポロっと崩れる」程度

### (3) 定植

ア. **灌水量**について

十分な土壌水分により根張りを良くします。根張りが悪い場合、今後気温上昇したときに生長した茎葉部と根部のバランスが悪くなり「しおれ症」が出やすくなってしまいます。

**ポイント** マルチ被覆の2日前に可能なら3時間以上灌水しましょう。

※圃場の土質でことなるためあくまで目安です

マルチ被覆までの間が空く場合は、さらに長く灌水しましょう。

イ. **地温**について

定植時の地温は必ず14℃以上を確保しましょう。定植時の地温を上げるためマルチ被覆は土壌水分がある時に実施し、定植の2週間前までに完了しましょう。

以上